

## 名古屋駅のユニバーサルデザインを考える

2027年開業予定のリニア中央新幹線により、名古屋駅は今大きく変わろうとしています。今後の10年の取り組みが、100年、200年の東海地方の鉄道交通のあり方を決めると言っても過言でない歴史的な転換点にあります。一方、名古屋駅は構造の複雑さや乗り換えの利便性の悪さから「迷駅」と評されます。車いす利用者をはじめとする移動困難者にとっては、不便さはより顕著ですが、名古屋駅のバリアフリー基本構想は2003年に策定されて以来見直しがされないままです。

従来のバリアフリー法の考え方では、事業者ごとに（駅舎等の建物ごとに）1つのバリアフリー経路を設ければよいとされてきましたが、このままでは複数の事業者が入り組む複合的な駅空間においては「迷駅」問題は解決できません。しかも交通機関の機能を維持しながら、既存の施設との調整を図る必要があり容易ではありません。

本セミナーは、歴史的な大事業であり、今後ユニバーサルデザインの全国モデルとなり得る名古屋駅整備の課題解決のためのヒントを探ります。

1. 日時：2015年11月15日(日) 13:30～16:00 (開場 13:00)

2. 場所：名古屋都市センター14階 特別会議室  
(名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル内)

3. 参加費：無料

4. 内容：

司会：水谷真 (AJU自立の家)

13:30～13:35 開会挨拶

磯部友彦 (東海北陸支部長・中部大学)

13:35～14:35 講演「名古屋駅の歴史的変遷と今後について (仮称)」

磯部友彦 (中部大学)

14:35～14:50 休憩

14:50～15:20 報告「障害当事者による『名駅大調査』について」

近藤祐次 (愛知 TRY 代表)

15:20～15:50 意見交換

15:50～16:00 閉会挨拶

荻野弘 (東海北陸支部顧問・キクテック)

主催：日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部

協力：愛知県重度障害者団体連絡協議会

連絡先：日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部事務局

わだちコンピュータハウス内 担当：水谷、河村

Tel 052-841-9888 Fax 052-841-3788

[fukumachi-jimukyoku@aju-cil.com](mailto:fukumachi-jimukyoku@aju-cil.com)

日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部 11月セミナー

## お申し込み票 (FAX 052-841-3788)

氏名	
所属	
電話番号	
メールアドレス	@
情報保障の必要性 必要なものに○を付けてください	要約筆記、手話通訳、磁気テープ、同時通訳 その他 ( )